



数理職員のある1週間

大臣官房統計情報部 雇用統計課 企画調整係 えんどう ひでたけ 遠藤 秀剛 (平成21年入省)



私の所属する係のメイン業務は**毎勤(毎月勤労統計調査)**の作成です。毎勤は毎月公表する統計で、速報と確報の月2回の公表が主要な業務です。そんな筆者の公表作業の1週間をご紹介します。

月
MON.

通常業務の日 - 課内の窓口担当業務をします -

毎朝の習慣

毎朝、係のみんなに本日の予定をメールでお知らせします。今週もがんばろう!

<本日の予定>

- [午前中]
 - ・メールチェック
 - ・厚生労働白書の確認依頼(本日も)
- [午後]
 - ・課内会議(議事概要作成)
 - ・厚労白書&毎勤月報作成
 - ※優先順位
 - 1. 厚生労働白書 などなど

担当係へ作業依頼

私の係は課内の窓口担当なので、各部局からの作業依頼や情報提供メールが毎日送られてきます(1日平均50通くらい)。課内の担当係へ作業を依頼して、回答を作成してもらいます。「なんとかが今日中をお願いします」

上司に説明して依頼元へ回答

依頼した係から回答が返ってきたので、内容を確認して適宜修正をします。その後、上司に説明して内容の了解をもらいます。いろいろとミス指摘されてしまいましたが、なんとかオッケーがもらえました!



火
TUE.

仮集計の日 - 公表準備が始まります -

毎勤作業はじまり!



午前中までが勝負!
午後から係全員で毎勤公表作業を一齐に開始するので、それ以外の急ぎの案件は午前中までに一段落させます。午後からは一致団結! 「さあ、がんばるぞー」



仮集計結果の確認

係長がプログラムで集計した仮結果をチェックし、元データ内に桁ずれの数値などないか確認します。ボーナスがとても高額なデータがあったので、担当係に確認してもらいました。問題なかったので安心です。

Q 毎勤(まいきん)は、どんなことを調査しているの?

A 事業所単位で雇用、賃金及び労働時間等の変動について、毎月調査しています。うちの課のメイン調査です! 詳しくはこちら! <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1.html>



水
WED.

本集計の日 - 結果の打ち出しや「概況」(公表資料)の作成をします -

今日のヤマだよ



原表打ち出し

公表準備が一番大変な日です。係長が集計作業を終えたら、省内に1台しかない連続帳票プリンタを使って、原表(結果がすべてまとめた表)を出力します。



概況のチェック & 分析資料作成

概況の体裁や数値のチェック、結果の分析資料を作成します。正確さとスピードが要求されます。「ギリギリ間に合った」



公表の決裁

できあがった概況を公表してよいか、課長等幹部の方の決裁を受けます。今月のポイントは夏のボーナス同時公表。無事に了承いただけました!

木
THU.

公表日前日 - HP掲載の最終チェック、大臣や幹部へ概況の事前配付をします -

もう一度!



最終原表打ち出し & 概況の印刷

保存用と一般の方の閲覧用の最終原表を出力し、概況の印刷をします。大臣や幹部の方には夕方に概況を事前配付するため、みんな得手分けして作業します。



大臣や幹部へ概況の事前配付

大臣室や幹部室に概況を持っていきます。直接本人に渡すことはありませんが、万一質問がきた場合は答えられるように心の準備をして行きます。



前日待機 ~ 20:00

明日公表の毎勤について、記者さんから質問が来ます。係長以上が対応するため、私は電話をとりついたり、HP掲載内容などの公表の最終確認をします。「公表準備オッケーです」

金
FRI.

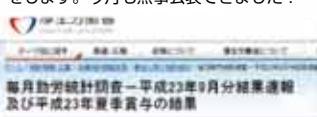
公表日 - 午前10時半公表。国会議員へ概況配付、夕刊をチェックします -

今日はお祭り!



公表

公表時刻と同時に閲覧用原表と一般配付用概況のセッティング、HP掲載内容の確認をします。今月も無事公表できました!



議員配付 & 夕刊チェック

議員会館へ行き、国会議員へ概況を配ります。終わったら、新聞社のHPや、夕刊をチェックします。

夕刊の記事が載っていました!

打ち上げ

勤務時間が終われば係のみんなで打ち上げです。今晚は、「もつ鍋パーティー」仕事のあとの一杯は最高ですね!

「今週もお疲れさま」



土
SAT.

充電日 - まったりします -

屋近くまで寝てしまうことが多いです。掃除や洗濯をやったあとは、家でのんびり一週間の疲れをとります。

日
SUN.

気分転換日 - お出かけします -

9時半に起きて、欠かさずワンピースを覗いたあとは癒しを求めて出かけます。また明日から仕事がんばれそうです!

新人職員に 聞きました!!



厚生労働省を選んだ理由は?

多種多様な業務を経験できるため、そして身につけてきた数理的な見方を生かして社会貢献できるためです。私は大学院まで純粋数学という社会とあまり関わりのない狭い一分野を研究してきたのですが、実社会を相手に広い分野に跨る知識で挑む人達にいつしか憧れを持つようになりました。厚生労働省の業務は統計、年金、労災等多岐に渡り、また地方や外部機関への出向や、さらには海外勤務もあり、自分の能力を磨く機会に恵まれています。それが同時に人々の生活を良くすることにも繋がる有意義な職業だと感じたからです。



竹内 光

大臣官房統計情報部
企画課審査解析室

仕事の印象は?

全国の雇用者の平均賃金・平均労働時間・労働者数を各産業・事業所規模ごとに毎月算出する「毎月勤労統計調査」の公表をしています。みなさんご存知のように、忙しい時期は毎日のように残業があり、睡魔と闘いつつ資料作成をすることも。でも、結果が公表されると新聞やインターネットなどにニュースが掲載され、結構すごいことやっているんだなあ、とても仕事にやりがいを感じる事ができます。仕事が一段落ついた時などは、職場の先輩たちと飲み会に行ったり、日々充実して過ごしています。



中井 亮平

大臣官房統計情報部
雇用統計課

仕事とプライベートの両立は?

配属される部署や時期にもよりますが、仕事が夜遅くにまで及ぶこともあり、趣味のためにまとまった時間を確保することは難しいです。

しかし、土日は1日自由に使い、年次有給休暇や夏期休暇があるため、日程を調整すれば数日間の旅行に行くことも可能です。個人的なことを述べれば、休日は自転車で出かけたり山に登ったりしています。就職してからはお金があるので1泊2日で遠くまで行くことも多いです。運動して体力を使い切ってよく寝ると精神的にもリセットすることができます。



柴田 洋平

保険局調査課

就活中のあなたへ一言。

星の数ほどある道の中から一つを選び、進むと決意する…それは難しいことで、焦りや不安は尽きないと思います。そんなときこそ、プラス思考で、就活を通じて気の合う友人や彼氏彼女を作ったり、ネタで有名企業を受けてみたり、とにかく楽しんでみると良いと思います。気負わず、素直に感じたことを大事にして、そして落ちてても気にしないようにすれば、結果がダメでも楽しい時間が過ごせます。(竹内)

就職活動中はいろいろ辛いことが多いかもしれませんが、今になって思うととても貴重な体験をすることができた時間です。自分の将来について真剣に考える機会は人生の中でそう訪れるものではないので、悩みまくりましょう。その一方、人生なんとかなるものなので、深く考えすぎないことも重要です。気を張り詰めすぎず、納得のいく就職活動を送れることを願っています。(中井)

就職活動中は内定をとることに必死になっているかと思いますが、仕事の内容をしっかり研究することが重要だと思います。当たり前ですが就職したら一日中仕事をするわけですから自分が興味を持って取り組める内容かどうかはシビアに判断すべきだと思います。厚労省の場合は面接に長い時間をかけ、いろいろな方の話を聞けるのでそれでも遅くはないでしょう。まずは、官庁訪問に来てください。(柴田)